

巻 頭 言



山梨県知事 長崎 幸太郎

新たな国際交流、 外国人が活躍できる共生社会を目指して

山梨県は、世界文化遺産の富士山をはじめ、日本一の生産量を誇る葡萄や桃、世界で高評価を得ている県産ワイン、ユネスコエコパークの「南アルプス」や「甲武信」等、多くの地域資源を有しています。その魅力は、国内外に浸透してきており、県内に宿泊する外国人観光客数は8年連続で増加し、2019年には222万人を超えました。

2021年の開催となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、本県も自転車競技ロードレースのコースに選ばれ、県内10の市町村は事前合宿地に決定しました。これを契機に、誰もが安全で快適に自転車を活用できる環境を整える等「サイクル王国やまなし」を実現するとともに、大会参加国との文化的・経済的交流を進め、大会後も続く関係の構築を目指しています。

現在、国際交流の分野では、アイオワ州（アメリカ）とは今年で姉妹県州締結60周年を迎え、四川省（中国）とは友好県省締結35周年を迎えます。こうした節目の年を契機に、行政主導から民間主導とした友好関係の構築により新たな価値を生み出す「姉妹都市2.0」ともいうべき新たな段階へと展開して参ります。また、山梨PR大使による中東諸国の大使館等へのPR、医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業といった成長分野における県内企業の中国進出へのサポートを行っております。さらに、県産果実については、これまでに輸出実績のある香港や台湾等に加え、将来的に大変有望な市場として葡萄の輸出解禁に向けて取り組んでいる中国もターゲットとして、戦略的なプロモーションを実施して参ります。

一方、外国人が活躍できる共生社会の構築に向けては、「やまなし外国人活躍ビジョン」を策定し、居住地としても「選ばれる」県を目指しております。昨年度は外国人や企業を支援するために「やまなし外国人相談センター」や「山梨県外国人材企業相談センター」を開設しました。また、身近な地域での日本語学習の支援や、地域の身近な支援員として外国人に対し相談対応や情報提供等を行う地域生活サポーターの設置等、外国人が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでおります。他にも、外国人材受入企業向けの研修会や外国人の適正な労働環境の整備に向け、企業や関係団体とともに全県的な官民ネットワークを構築するなど、外国人が働きやすい環境づくりにも取り組んでおります。

新たな友好関係を構築し、本県の強みを世界へより一層発信していくとともに、国籍にかかわらず一人ひとりがコミュニティの一員として尊重され、活躍できる県の実現を目指して参ります。